

誠実に・着実に・皆様とともに

西山かずみ

市議会活動報告

会報：第24号

市民生活常任委員会 委員

議会運営委員会 委員

災害等対策推進特別委員会 委員

志帥会 幹事長

ごあいさつ

新年度が始まりました。何かと気ぜわしい時期ですが、健康に留意しながらお過ごしいただければと思います。

本市は、昨年9月台風13号の影響による大雨で、市内各地に多くの被害が出ました。発災直後から、市長を先頭に、被災された皆様の一日も早い生活再建に向け、支援施策を実施しています。私も、地域防災活動の支援は最重要事項として、これからも皆様と一緒にしっかりと歩を進めたいと思っております。

さて、令和6年2月定例会で一般質問をさせていただきましたので、ご報告させていただきます。今回の質問内容は、内田広之市長が掲げる「人づくり日本一」に関わって、教育行政の進捗状況について、そして、水道事業経営審議会における答申の内容について質問いたしました。

引き続き、誠実に議員活動を進め、責任を果たしてまいりますので、変わらぬご指導をよろしくお願いいたします。

令和6年2月定例会

内田市政における教育行政の進捗状況について

今回、あらためて市長を目指した原点となる教育行政の各種政策、事業についての現時点での取組み状況などについて伺いたいと思います。本市は、「学力向上チーム」を立ち上げ、「学校カルテ」により、学校ごとの特徴とそれを踏まえた学力向上のための指導・助言を行っていることで、先日の教育長記者会見では、これまでの「学校カルテ」を刷新し、新たに県内初の試みとされている「学校カルテ（学校・学級ダッシュボード）」の導入を公表いたしました。それにより、全国学力・学習状況調査に加え、ふくしま学力調査も含めた、より詳細な調査分析となっていることがあらためて理解できました。まさに市長が日頃から口にしていくエビデンスに基づいた対応が日々進化しているものと評価したいと思います。

質問 **Q** **そこで、基礎学力の向上に向けた取組みや、そのための教育環境整備などの取組みを通じ、市長として学力向上を目指す意義は**

答弁 **A** **市長** 私は、市長就任以来、「人づくり日本一」を掲げ、それを実現するための学力日本一という高い目標を表明してきました。現実的ではないのではないか、という声もあると思いますが、高い目標を掲げなければ、大きな効果も果たせません。本市の未来に向けて、再生エネルギーや脱炭素に配慮した産業や、若者の雇用創出、防災力向上、医師確保、まちづくりなどには、何と云っても人づくりです。時間がかかりますが、人づくりの肝となる学力向上を、しっかり学校教育を通じて推し進めていきます。

質問 **Q** **それではそのために、どのようなスキームで目指すべき方向性を見だしていくのか**

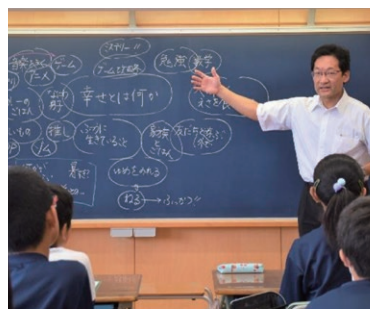
答弁 **A** **市長** これまでの学力向上に向けた全校訪問の仕組みであったり、学校・学級ダッシュボードやブログ・コンテンツ・ICT利活用の取組みに関しましては、教育長が答弁を申し上げたとおりです。印象としては、各学校がかなり好意的に受け入れてくれていて熱心であると思っています。いろいろ見てまいりましたが、こうした仕組みづくりに、全国的には3・4年はかかる市町村が多くあるなかで、いわき市は、円滑に動き出していると評価しています。

一方で、これからの課題は、更なる深化や質の向上をどうするかだと思っています。より広く教職員一人一人の理解を求めていくと同時に、時には市外の専門家からも客観的アドバイスをもらいながら、どのようにして教育改革の質を高め、現場を鼓舞するか。今後、第三者的視点を入れて、更なる深化につなげるなど、学力日本一の高みに向けて、時間はかかりますが、尽力していきます。

私が中学3年生の頃、中体連が終わった2学期前後から、放課後2時間の課外授業があり、無我夢中で担当の先生方が用意してくれたプリントと格闘する自分がいました。隣に座る親友と、何回かある成績ごとのクラス分けテストに戦々恐々となりながら、同じ目的のために頑張るという連帯感もわきました。その後、自分の子供が中学生の頃には、「ゆとりの教育」という時代がありました。当時PTA役員だった私は、心中やきもきして見守っていたと記憶しています。

教育のあり方も、時流により様々に変わっていくものだと痛感しましたが、大切なのは「教育」という目に見えないものに対し、先頭に立つ人が確固たる信念を示し、丁寧にそして具体的にその進め方をしっかりと浸透させていくことで、必ず良い方向へ動くという「先頭に立つ人の覚悟」だと思います。

教育の力は未来をつくる力です。教育の内田、人づくりの内田、未来をつくる内田として、残りの任期も一丁目一番地の施策充実に向けて、引き続き、邁進していただくことを要望します。



第18次いわき市水道事業経営審議会からの答申を踏まえた今後の対応について

質問 今後も水道料金収入が減少していくことが見込まれる中、事業を健全に運営していくためには、料金水準の見直し等の財源確保の検討が必要不可欠となりますが、より安定的な財源確保に向けた料金体系の考え方は

答弁 水道局長 事業を健全に運営していくためには、基本料金と水量料金の組み合わせからなる料金体系と改定率にも関わる料金水準の両面から検討する必要があります。本市の水道料金体系については、口径別の料金体系としており、多くの事業者が採用している基本料金と水量料金の二部料金制を採用しています。基本料金と水量料金の比率はおおむね3対7としていますが、料金原価の9割程度を占める固定的な経費を安定的に回収できていないなどの課題があります。今後も、水需要の減少が予測される中で、水道事業を行うための固定的な経費を安定的に回収するためには、基本料金と水量料金の割合を見直すなど、水需要の増減に影響されにくい料金体系を構築する必要があると考えています。

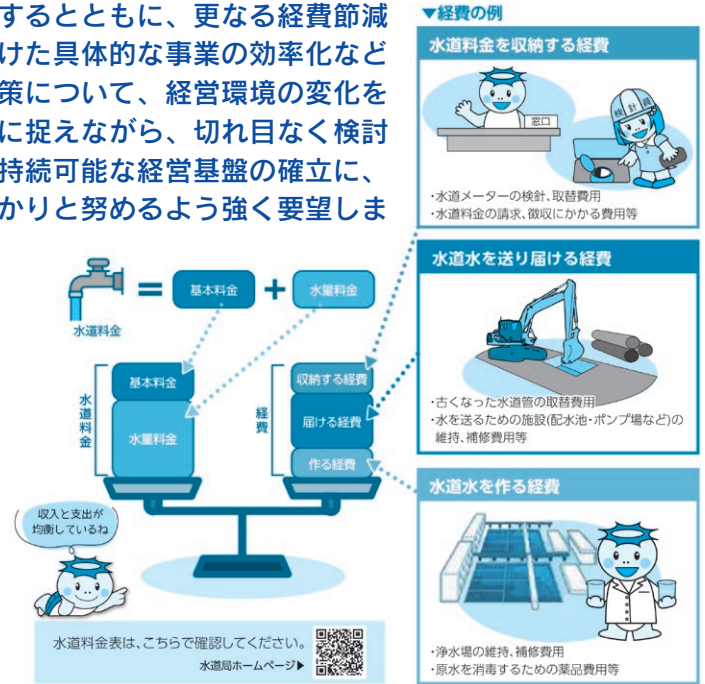
質問 料金体系の考え方と進め方は、市民生活に大きな影響を及ぼすため、分かりやすくお知らせし、理解していただくことが大切です。

ビジョンに定める将来像の実現に向けた今後の水道事業経営に対する基本的な考え方は

答弁 水道事業管理者 水道事業経営を取り巻く環境は、人口減少等に伴う給水収益の減少など厳しい状況にあります。また、「いわき水みらいビジョン2031」に定める将来像の実現に向け、将来にわたり安定供給に欠くことができない水道施設の適切な維持管理と老朽化施設の計画的更新に鋭意取り組んでいきます。更には、令和元年東日本台風等の経験を踏まえた水道施設の耐震化、浸水対策、停電対策など、災害に強い水道事業の構築に向け、引き続き全力を挙げて取り組んでいきます。また、水道事業に係る各種施策を着実に展開するためには、経営環境の変化を的確に捉えるとともに、経営効率化の観点を強く意識しながら取り組む必要があると考えています。1つには、DXの推進、アセットマネジメント

の活用等により、新技術を活用した業務の改善、効率化、更には、水道施設の統廃合やダウンサイジングを進めるなど、事業コストの削減と施設の最適化を図ることです。2つには、民間の力や資金を適切に活用する官民連携の取り組みを進めるなど、地域の様々な力を結集した力強い水道事業の推進を図ることです。3つには、水道は、暮らしや地域社会経済を支える基本的なライフラインであることから、水道事業のプレゼンスを高め、経営や事業に関する様々な情報の発信、共有等を通し、市民との協働を進めるなど、市民と共に創り上げる水道事業の推進を図ることです。このような基本的な考え方を踏まえ、前例に捉われないこと、裾野を広げながら、各種施策を推進し、ビジョンが掲げる「安全」「強靱」「持続」の将来像の実現に向け、そして、将来世代に引き継ぐべく持続可能な経営基盤の確立に努めていきたいと考えています。

施設の統廃合など、引き続き経営効率化の取組みを着実に実行するとともに、更なる経費節減に向けた具体的な事業の効率化などの方策について、経営環境の変化を的確に捉えながら、切れ目なく検討し、持続可能な経営基盤の確立に、しっかりと努めるよう強く要望します。



下半期の活動実績

地域の高齢者や子供達が安全・安心に生活が出来るように活動しています。



西山かずみプロフィール 昭和34年9月13日 (いわき市平生まれ)

- 公益財団法人ときわ会 評議員
- 学校法人志向学園 かなや幼稚園 理事
- いわきバレーボール協会 参与
- 中神谷スポーツ少年団 顧問

経歴

国立福島高専機械工学科卒
アルプス電気(株)東京本社入社
「タウン情報いわき」の(株)アドプラン入社
ときわ会グループ(株)シグマ入社
総合広告代理店を起業



<https://www.facebook.com/kaz2419>



nishiyamakazumi.hatenablog.com/

